

## キリンググループ 2017年4月販売概況レポート

### 1. キリンビール社

- ・ビール類は、出荷日が昨年に比べて1日少なかったことや、低温が影響し、マイナスとなった。
- ・ビールは前年並みとなり、市場水準を上回った模様。「47都道府県の一番搾り」の18道県分が発売となった「一番搾り」ブランドが好調に推移した。
- ・新ジャンルはマイナスとなったが、「のどごしスペシャルタイム」の発売が寄与し、市場を上回った。
- ・ノンアルコールビールテイスト飲料は、11日に発売した「零ICHI」が月間目標を上回り好調に推移し、カテゴリ-計は+141%と大幅増となった。
- ・RTDは前年並みとなったが、2月製造品から順次リニューアルしている「本搾り」ブランドが、期間限定商品発売も寄与し、好調に推移した。

カテゴリ	前年比
ビール類計	97%
ビール計	100%
発泡酒計	94%
新ジャンル計	97%
RTD計	100%

### 2. キリンメジヤン社

- ・ワインは、出荷日が昨年に比べて1日少なかったことから、国内製造ワインが-9%、輸入ワインが-3%、ワイン合計で-6%となった。
- ・フラッグシップブランド「シャトー・メジヤン」は、昨秋以降の新ラインアップ発売より好調を維持し+16%となった。
- ・「おいしい無添加」は、出荷日減の影響を受け単月ではマイナスとなったが、累計では+4%と堅調。
- ・中高価格帯「カシエロ・デル・ディアプロ」は、昨年的大幅な伸長の反動で-2%となったが、2015年比では+66%となっている。

カテゴリ	前年比
ワイン合計	94%
国内製造ワイン計	91%
輸入ワイン計	97%

### 3. キリンパレッツ社

- ・清涼飲料計は、昨年の熊本地震によるミネラルウォーターを中心とした需要増の反動が見られ-10%となった。
- ・生茶ブランドは、昨年4月のリニューアル新発売の寄与が一巡し-5%となったが、コンビニチャネルでの導入率は引き続き高水準を維持している。
- ・午後の紅茶ブランドは、昨年発売した自販機専用商品の反動が見られ-5%となったが、コンビニチャネルは好調を維持した。
- ・健康・スポーツ飲料は新発売の「ライザップ プロテインボトル」、機能性表示食品「サプリメン」が引き続き好調で+17%と伸長した。

カテゴリ	前年比
清涼飲料合計	90%